

ネリゃこい！ネリゃこい！



由良町 

こんにちは！

議会です

発行／由良町議会 発行責任者／玉置 一郎

編集／議会広報編集委員会

〒649-1111 和歌山県日高郡由良町里1220-1

TEL:0738-65-1100 FAX:0738-65-0226

E-mail:gikai@town.yura.lg.jp

令和5年9月定例会

[会期] 9月6日~14日

令和4年度決算

令和5年9月定例会は、9月6日から9月14日までの9日間の日程で開催されました。報告1件、条例一部改正1件、人事1件、補正予算5件、決算認定7件の計15件の議案が提出され、審議の結果、すべて原案のとおり可決、同意、認定しました。また、議会から条例新規制定1件、意見書1件の議案が提出され、いずれも可決しました。一般質問は、4名の議員が登壇しました。

認定

一般会計・特別会計決算

会計名	歳入		歳出	
一般会計	45億	852万8,192円	43億	718万9,974円
国民健康保険特別会計	9億	952万9,267円	8億6,663万1,914円	
後期高齢者医療特別会計	1億	8,066万5,184円	1億7,927万7,031円	
介護保険特別会計	8億	1,153万1,160円	7億2,636万9,588円	
公共下水道事業特別会計	5億	3,612万5,002円	4億9,311万3,335円	
漁業集落環境整備事業特別会計	2億	968万5,612円	1億8,081万2,212円	
水道事業会計	5億	226万1,129円	5億1,582万4,341円	

歳出予算の主な使い道

総務費

決算額
6億2,983万5,473円

- ふるさと納税事業
- 民間住宅家賃補助事業
- 新築住宅取得補助事業

民生費

決算額
9億6,553万1,270円

- 住民税非課税世帯等に対する臨時特別給付金給付事業
- バス・タクシー運賃助成事業
- 子育て支援事業

衛生費

決算額
8億3,311万3,312円

- 母子保健事業
- 健康診査事業
- 新型コロナウイルス等予防接種事業

農林水産業費

決算額
1億1,698万3,352円

- 施設園芸農家支援事業
- 農作物鳥獣害防止対策事業
- 中山間地域等直接支払推進事業
- 水産業燃油高騰対策事業

商工費

決算額
1億9,893万6,967円

- エールクーポン事業
- プレミアム付商品券発行支援事業
- 紀伊由良駅前公衆トイレ整備事業
- 白崎海洋公園シャワールーム設置工事

土木費

決算額
4億5,928万2,593円

- 町道①-3号線道路改良工事
- 町道3-123号線道路改良工事
- 橋梁定期点検業務

消防費

決算額
1億6,131万5,412円

- 防災行政無線戸別受信機貸与事業
- 避難誘導灯設置工事
- 横浜区北山避難場所整備事業補助

教育費

決算額
2億9,745万674円

- 学校給食費補助事業
- 由良小学校屋内運動場空調設備設置工事
- 由良小学校施設改修工事

決算認定

補正予算等

広報研修

委員会視察

一般質問

由良町の財政はどうなっているのか？

監査委員の審査意見

令和4年度の決算においては、町税で前年度と比較して減額となっているが、地方交付税のうち、普通交付税で算定されている公債費の増加や新型コロナウイルス感染症対策のための臨時的な経済対策に係る費用に対する追加交付等があり、一般財源が増加したことから、財政調整基金の取り崩しを行わず、財政調整基金への積み立てを行い、基金残高が増額となっている。

地方債残高については、地方債発行額が大型事業等の施工に伴い前年度と比較して増加となっているが、償還額を下回ったことで減額となっており、財政状況がやや上向きになっていることがうかがえる。

しかしながら、今後も引き続き、人口減少や地価の下落等により、自主財源の根幹をなす地方税が減少し、歳入の財源は依然として、依存財源である地方交付税や国庫支出金等の占める割合が大きくなっていくことが見込まれる。

歳出においては、今年6月に発生した大雨による災害復旧事業、今後も継続して行われる道路新設改良事業等の投資的経費や、国民健康保険、介護保険等における保険事業、また、上下水道事業における一般会計から特別会計への繰出金及び出資金、更には、老朽化施設等の改修に伴う一部事務組合への負担金等で大きな支出が想定され、将来的にも厳しい財政運営を強いられることが懸念される。

このような状況を十分加味した上で、第2期由良町総合戦略の基本目標に沿って、安定した雇用の確保、新しい人の流れ、子育て環境の充実、住みやすいまちづくりを目指して、限られた財源の中ではあるが、行政水準を維持し、町民のニーズに合った政策を進めるとともに、歳入歳出の両面から常に創意工夫を図りながら、適正な財政運営及び基金の保持に取り組まれることを期待する。

また、新たに整備・改修した施設については、より多くの町民に活用してもらえるよう周知に努めていただきたい。



くせ のぶひろ
久世 修裕 監査委員



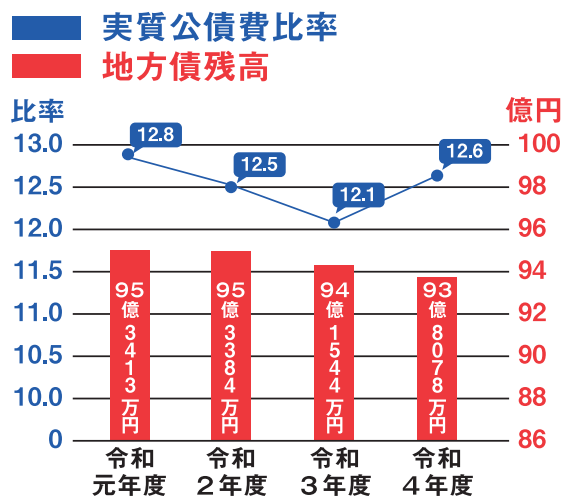
のだ さとし
野田 悟 監査委員

令和4年度の財政状況

令和4年度実質収支額

一般会計	1億9,281万9千円
国民健康保険特別会計	4,289万7千円
後期高齢者医療特別会計	138万9千円
介護保険特別会計	8,516万2千円
公共下水道事業特別会計	4,221万3千円
漁業集落環境整備事業特別会計	2,887万3千円
水道事業会計	2,822万5千円

※実質収支額とは歳入決算総額から歳出決算総額を差引いた額から、翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた額。



※実質公債費比率
地方自治体の収入に対する、実質的な借金の比率。

※地方債残高
公共施設や道路、水道、下水道などの整備に充てた借入金である地方債の残高。

令和4年度 一般会計決算 - 歳入 -

町税（町民税・固定資産税・軽自動車税・たばこ税） 6億6,327万円

問 自主財源である町税の徴収率は。

答 【税務課長】歳入全体で構成比率14.7%を占めている町税の徴収率は、県下30市町村中、上から2番目の高順位で、99.0%です。これからも、自主財源を確保するためにも職員一丸となり取り組んでいきます。

令和4年度 一般会計決算 - 歳出 -

総務費 移住定住推進費 4,745万円（うち1,587万円が不用額）

問 今回、不用額が多く出ているが、その理由は。

答 【産業振興課長補佐 兼 観光推進室長】当初予算で地域おこし協力隊員6名分を計上していましたが、4名を任用し、隊員2名分の報酬や活動経費、住宅使用料などの費用が不用になりました。

商工費 観光大使活動負担金 135万円

問 令和5年度は、300万円計上されているが、令和4年度の活動状況は。

答 【産業振興課長補佐 兼 観光推進室長】昨年12月19日、観光大使として「由良ゆら」さんを任命しました。活動として、①任命式の開催、②1月23日、日高ブランド特産品販売イベント（東京）③3月26日、観光PRイベント（大阪駅）、昨年度は計3回、大使として活動しています。



商工費 白崎海洋公園シャワールーム設置工事 1,209万円

問

当初、必要なのか、もっと安くできないのかなどの意見もあったが、ダイビング関係者からは大変喜ばれていると聞きます。シャワールームの稼働率は。

答

【産業振興課長補佐 兼 観光推進室長】今年度4月から稼働が始まり、公園内オートキャンプ場利用者が2割～3割、ダイビングの方々の利用が7割～8割という状況です。やはり、夏場の利用が多くなっています。

【副町長】キャンプ場には、必要な施設だと思います。今後、利用頻度も高まり、白崎に来られたら汗を流してゆっくり帰っていただく意味のある事業だと思います。



シャワールーム外観



シャワールーム内



屋外シャワー

消防費 地区復興計画事前策定業務委託料 86万円

問

防災意識を高めるために、地域住民も一緒になって策定に参加しているのか。

答

【総務政策課副課長】京都大学の先生と生徒さん、広島大学の教授、摂南大学の教授の方々が、それぞれ担当される区に入っていただき、区長や区民の皆さんに計画図を説明し、意見交換やワークショップを行いました。また昨年度、網代区民に説明された報告や計画図などを中央公民館で展示しました。



復興計画作成ワークショップ（衣奈）

消防費 防災行政無線戸別受信機設置業務委託料 40万円

問 町民の皆さんに対して、受信機の貸出し状況は。

答 【総務政策課副課長】令和3年度から、防災行政無線の内容を受信できる機器を、申請された各家庭に設置する事業が始まり、令和3年度は117台、令和4年度は38台設置しています。今年度は、9月時点で2台設置している状況です。



受信機の貸出しについては総務政策課へ

教育費 由良小学校屋内運動場空調設備設置工事 3,498万円

問 令和4年度当初予算において、6,952万円を計上していたが、大幅に減額された理由を。

答 【教育課長】県内業者15社による入札を行い、67.8%の請負率で株式会社富士商會が落札した結果です。



体育館クーラー設置

総括質疑

問 今後、町として重要なのは、移住対策の強化だと思う。移住者が増えている町と施策を比較しても由良町は、子ども医療費の無料化、新築補助、家賃補助など遜色ない。どう結びつけていくのかが問題だと思うが。

答 【町長】財政厳しい状況ですが、やるべきことはやっていかねばなりません。今後、十分に由良町のPR活動を行いたいと思います。

令和4年度 特別会計決算

国民健康保険 高額療養費 8,139万円

問

病気やけがにより、入院等の医療費の支払い時、負担限度額があるが、その説明を。

答

【住民福祉課副課長】住民福祉課で限度額適用認定証を申請し、病院の窓口で提示していただいた場合、世帯によっても異なりますが、課税状況や所得状況によって負担限度額は各段階によって分かります。これは、あくまでも1か月分の療養費になり、食事療養費や部屋代等は、これに含まれません。

介護保険 介護予防普及啓発事業 50万円



問

町広報にも掲載されているが、由良町元気高齢者運動教室に参加したことがないので説明を。

答

【住民福祉課副課長】由良町元気高齢者運動教室として、3か月間・週に1回、気功や肩こり予防改善運動、物忘れ予防、水中運動などを御坊市内のメディカルフィットネスアクトへ委託し、心身の改善や運動機能の低下を予防する事業です。

水道事業 只越配水池更新事業 2億2,363万円

問

只越配水池の工事は、今年度に繰越されて現在工事中であるが、(新しく設置される貯水槽の)水は、いつ頃から飲めるのか。

答

【上下水道課副課長】現在、配水池(貯水槽)は完成しております。残る工事としては、周りの舗装やフェンス工事などがあります。水質調査等をできるだけ早い段階で行い、年内に使用できるよう一日も早い完成を目指しているところです。



只越配水池(新設)

条例改正・補正予算・人事

決算認定

補正予算等

広報研修

委員会視察

一般質問

災害派遣手当等の支給に関する条例の一部を改正する条例

可決

新型インフルエンザ等対策措置法の改正により、派遣された職員に支給することができる手当の名称が「新型インフルエンザ等緊急事態派遣手当」から「特定新型インフルエンザ等対策派遣手当」に改正されたための条例改正。

災害派遣手当について

問

災害派遣手当の対象者と金額についての説明を。

答

【総務政策課副課長】災害のため、他市町村から由良町に派遣していただいた職員が対象です。公用施設に滞在の場合は、すべての期間、1日当たり3,970円、その他の施設に滞在の場合は、30日までは1日当たり6,620円、30日を超え60日までは5,870円、60日を超える期間は5,140円支給します。

令和5年度 一般会計・特別会計補正予算

可決

- | | |
|-----------------------|-------------|
| ・一般会計補正予算（第5号） | 1,890万円増額 |
| ・国民健康保険特別会計補正予算（第1号） | 766万9千円増額 |
| ・後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） | 667万7千円増額 |
| ・介護保険特別会計補正予算（第1号） | 8,317万7千円増額 |

議会録画映像（DVD）の貸出しについて



由良町議会では、開かれた議会を目指し、議会広報の充実の一環として、ケーブルテレビで放映した本会議映像の録画DVD（一般質問のみ）の貸出しを行っています。

本議会の模様をご自宅などでご覧いただけますので、ぜひ、ご利用ください。

詳しくは、議会事務局 Tel：0738-65-1100 までお問い合わせください。

人事

同意



はまの かずひろ
濱野 一宏 氏

由良町教育委員会委員任期満了に伴い、濱野一宏氏（吹井319番地）を引き続き任命することに同意しました。

**由良町教育委員会
委員の任命について**

議員発議により、条例案と意見書案を提出

可決

由良町議会議員
の請負の状況の
公表に関する条例

議員のなり手不足に対応するため、地方自治法及び地方自治法施行令の一部が改正され、議員に関わる請負に関する規制の緩和がなされ、各会計年度において支払いを受ける請負の対価の総額が300万円を超えない者を、議員個人による請負に関する規制の対象から除くものとされました。

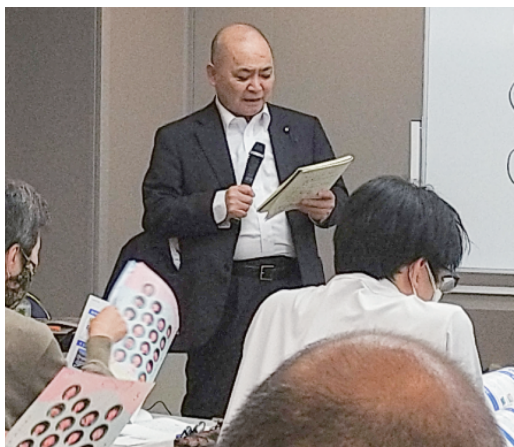
こうしたことに伴い、由良町議会として、町議会議員の町に対する請負の状況を公表すること等により、請負の状況の透明性を確保し、議会の運営の構成及び事務執行の適性を図るため、本条例を制定するものです。

防災・減災、国土強靱化等に資する社会資本整備の推進を求める意見書

自然災害への備えをより一層充実させることが必須となることから、国の関係機関に対し意見書を提出する。

【意見書の送付先】衆議院議長・参議院議長・内閣総理大臣・財務大臣・農林水産大臣・国土交通大臣
・内閣官房長官・内閣府特命担当大臣（防災）

広報研修



私たち議会広報編集委員は8月28日、東京都で開催された「令和5年度町村議会広報クリニック」に参加しました。

エディター、広報アナリスト吉村潔氏から「読みやすくわかりやすい広報誌づくり」「議会広報作成についての注目点」と題して、議会を身近にする広報誌づくりについて講義を受けました。

また、関西・中国地区の8議会が広報誌クリニックを受け、由良町は現在の広報編集委員が初めて作成した本年5月号の「こんにちは！議会です」を題材に、広報誌の作成に当たり工夫した点について発表しました。



総評として、

- ① トータルな完成度が高い議会広報誌である。
- ② 情報が読み取りやすい紙面設計になっている。
- ③ 写真も活用されている。
- ④ 定例会以外の議会活動を取り上げ、特集を組むことも検討すれば、さらに良い広報誌になる。

といった高評価をいただきました。

「犠牲者ゼロ」を目指す 共助の意識



決算認定

補正予算等

広報研修

委員会視察

一般質問



【黒潮町】佐賀地区津波避難タワー



【室戸市】むろと廃校水族館



津波避難タワー屋上

総務文教常任委員会は、今後30年以内に70%～80%の確率で大規模地震が発生するといわれ、全国最大34.4mの津波が押し寄せると想定されている町・黒潮町で行政視察を行いました。高知県内の沿岸自治体は、津波避難対策を急ピッチで進め、黒潮町佐賀地区には、国内最大級(全体の高さ25m、想定浸水深18m、避難フロアの高さ22m、収容人数230名)の津波避難タワーが建造され、地区の生きる希望との願いも込め「命の塔」とも呼ばれ、年に何度も避難訓練を行って住民に親しまれています。

佐賀地区の有志グループ「防災かかりがま士の会※1」の方から、さまざまな活動を紹介してもらい、また、意見交換も行いました。

会員の方から、『**住民一人ひとりに、自分たちの命は自分で守る。行政ばかりに頼らず、自分たちでできることは自分たちでやろう**』とご意見を伺った時、共助の意識が根付いていると、委員一同、実感しました。

また、廃校施設をNPO法人日本ウミガメ協議会が平成30年4月から指定管理料0円で管理運営を行い、年間約11万人が訪れ、人気のスポットとなっている室戸市内の「むろと廃校水族館」を視察しました。今後、町内の廃校施設利活用の参考になるモデルケースでした。

※1 「かかりがましい」とは、黒潮町佐賀地区の方言で「必要以上に世話焼き」、「おせっかい」という意味。

ゆずで村おこし



ゆず加工場



ゆず加工場見学



ごっくん馬路村



ゆずポン酢しょうゆ

産建厚生常任委員会において、「ゆず」で村おこしをしている世帯数約400世帯、人口約800人の高知県馬路村を行政視察しました。

昭和60年以降、JA馬路村を中心に「ゆず」の生産・加工・販売する6次産業化を展開した「ゆずポン酢しょうゆ」や「ごっくん馬路村」などをネット販売にも取り組んだ結果、現在、売上が約30億円、JA馬路村職員は約90名に、そして、1世帯所得平均が、高知県下で1番という説明を受けました。

また、馬路村では令和2年度より、村内で「季節や繁忙期によって職場を組み合わせた派遣職員制度」を可能とする、移住者を呼び込む「特定地域づくり事業」を先駆的に取り組んでいる状況もお聞きしました。

今後、由良町でも地域活性化に繋がられる取り組みであると委員一同実感した視察となりました。

一般質問

議員が町行政の問題などを問いただす「一般質問」は、4名の議員が登壇し、町当局の考えについて質問しました。以下、その内容を要約してお知らせします。

決算認定

補正予算等

広報研修

委員会視察

一般質問



もり みえこ
森 三枝子
議員

1 由良川の浸水対策、 県へ要望を

議員

去る6月2日の水害では、床下浸水被害を受けた里町営住宅の復旧をしていただき、大工さんをはじめいろいろな業者の方が猛暑のなか一所懸命頑張って修繕を進めてくれた結果、全部の仕事が完了したと聞いています。

住民の皆様も、やっと落ち着きを取り戻し喜んでいました。

ただ、近くの持ち家の方は大変な思いをしながら、自己資金で片付け、修理され落ち着きを取り戻しつつありますが、まだまだ台風シーズンも控えていますので不安はたくさん残っていると思います。

家の前の水が濁流の川となり、車も浸水し、そこに転落すれば命の危険もあり

ます。私は、このような水害がどのようにして起こったのか、由良川を含め現地を何度も見てきましたが、この地域は以前から水がたまりやすく、排水が難しい現状です。

今回の水害では線状降水帯が発生し、短時間に大量の雨が降り、由良川の堤防から水があふれたことが最大の原因と考えられます。

里地区の方々には、もう何度も怖い思いをさせてしまっているのです。

由良川の管理は県が行うと聞いています。河川の周りの家屋に被害が及ばないように、対策を町から県に要望をお願いしていただきたい。

町長

令和5年6月定例会において、由良川の全面改修は非常に難しいとのことから、和歌山県において部分改修や河川のしゅんせつ、樹木の伐採などの対策を実施していただいているところです。

しかしながら、本年6月2日のような豪雨においては、由良川流域の広範囲で氾濫が起きているため、それらを完全に防ぐことは非常に難しいというのが現

実であります。

町としても、浸水被害に遭われた方が非常にご苦労をされているということも承知をしていますので、今後も県と被害状況を共有し、被害を少しでも軽減するなどの対策があれば、実施をしていただけるよう要望していきたい。



由良川の被災箇所（門前地区）

1 マイナンバーカードで健康保険証はどうなる

議員

岸田首相は、マイナンバーカードの健康保険証を持たない人には、資格確認書を発行するとしています。

町民の声としては、マイナンバーカードを取得したが、返納するのにペナルティがあるのか、ポイントを返還しなければいけないのかと疑問と不安の声があります。

今の時点でどうなっているのか。

町長

国の方針では、令和6年秋に保険証を廃止するとしています。

マイナンバーカードを返納する際には、



かわで じゅん 純 議員

2 地域防災計画について、5点聞きたい

議員

手数料はかかりません。また、マイナポイントに関しても、一度取得されたポイントは返還していただくことはありません。

①「ため池」の劣化状況調査について
②「避難場所」の設定が小学校等の廃止で少し変わってくるのではないかと。

③ 由良町公式LINEの普及についてスピードアップしていただきたい。

④ 災害時の「災害ごみの仮置き場の指定や仮設住宅の設置」の予定地は。

⑤ 災害見舞金制度の創設は。

町長

① ため池の劣化状況調査については、令和4年度末で17池を実施しました。

② 旧衣奈小学校及び旧白崎小学校については3月に廃校になりましたが「避難場所」としての変更はしていません。

③ 9月8日現在の登録件数は392件となっており、町民の皆様への周知につきましては7月に広報誌への記事掲載とチラシの回覧を行い、役場庁舎と各公民館にポスターの掲示とチラシを設置して

います。

今後、防災訓練や各地区懇談会においてさらなる普及に向けて取り組んでいきたい。

④「災害ごみの仮置き場の指定」はしていません。

「仮設住宅の設置」については、町民運動場や旧衣奈中学校のグラウンドを想定しています。

⑤ 災害見舞金制度の創設は考えていません。

由良町公式LINE 友だち募集中!

スマートフォン等のアプリ「LINE」に、由良町の公式アカウントを開設し、防災行政無線の放送内容の配信を開始しました。

ご利用いただくには、以下の方法で、友だち登録をお願いします。

※友だち登録は無料です。ただし、通信料は利用者の負担となります。

友だち登録方法

※詳細は裏面に記載

- QRコードから友だち追加
LINEアプリの「友だち追加」→「QRコード」から右のQRコードを読み込みし、「追加」ボタンを選択
- 検索から友だち追加
LINEアプリを起動し、ホーム画面から「由良町」で検索「由良町」を選択し、「追加」ボタンを押して登録

お問い合わせ先 由良町総務政策課 0738-65-1801

LINE QR コードから友達登録で防災行政無線の放送内容をご確認いただけます。LINE に登録すると、様々な情報が町から届きます。

1 豪雨災害復旧の進捗状況と 災害協定などの具体例は

議員

突然の6月豪雨災害、関係者の皆様には、ご苦労がたくさんあったと思います。
①災害復旧過程の作業進捗状況 ②緊急工事費の使い方 ③災害時の協定締結内容と今回の豪雨でお世話になった事例などを知りたい。

町長

①査定計画書の作成は完了し、公共土木施設災害査定を実施。また、9月後半から農地・農業用施設災害の査定が4週連続で実施されます。

②災害復旧事業の採択要件に適合しない災害などは、すでに50か所以上の緊急対策工事の実施を終了しています。



みかみ ゆきお
三上 幸夫
議員

③地方公共団体、民間企業等と災害時の相互応援関係も含め40の協定を締結し、物資等の供給、職員の派遣、応急復旧等に必要な資機材の提供などが締結内容です。

また、お世話になった事例として、協定に基づき、由良町建設業協会からの支援、由良ドック（株）との災害時における避難所施設利用に関する協定に基づき、同社内の宿泊施設へ11日間、避難者を受け入れてもらいました。



土砂崩れ（畑地区）

2 町の未来に役立つ 土地活用を

議員

町長の行政運営には毎年「住民との対話を重視し、町民目線で意見や提言を十分聞き入れながら、施策については第2

期由良町総合戦略に基づき実施する」と言い続けられています。基本方針は施設等総合管理計画で計画して、町が主体となつて進めていく思いが伝わってきません。

令和3年9月の決算時、監査報告に書かれていましたが、廃校した旧小学校、旧中学校、保育所跡、各地区の老朽化した集会所など、由良町公共施設総合管理計画に沿って安易な利活用を続けるのではなく、由良町の未来に役立つ土地活用を進めてほしい。

町長

旧衣奈小学校については、地元衣奈区との協議を進め、地区懇談会においても、区民の方との意見交換を行いたい。

旧白崎小学校については、旧白崎小学校区の各区の理解を得られた中で、大引区に施設全体の管理をお願いしたい。大引区に管理していただく上での細かい条件等が決定し、旧校舎の用途変更手続等が完了次第、利活用していただく方向です。

総務政策課長

利活用の見込みない施設の取り壊しや売却などに関しては、財政状況を勘案しながら行っていきますので、今のところ回答できない状況です。

1 全国的に、ふるさと納税額が増加している
チャンスを、どう考えるか

議員

何をするにも財源が必要です。

先日、一般紙にふるさと納税に関する記事が掲載されました。記事によると、国全体で令和元年の寄附額は約4875億円であったのが、令和4年度においては約9654億円と、約2倍と飛躍的にふるさと納税額が増加しています。

由良町は、ふるさと納税制度の本格的な導入から3年が過ぎようとしています。が、まずまずの滑り出しかなと思います。しかし、これから増やしていくのは大変なことだと私も認識をしています。



のだ さとし
野田 悟
議員

施策は、財政ありきの施策です。近隣市町村では、ふるさと納税で得た寄附金を利用して様々な施策を打ち出しています。

今後、全国的にふるさと納税額が相当な勢いで増加することが予想されます。このチャンスをどのように考えられているのか。

町長

ここ数年、全国的にふるさと納税の利用者、寄附額ともに拡大をしています。

当町は、令和2年10月から寄附申し込みを受け付けることができるPCサイトへの参画を開始し、年々、寄附件数と寄附額は増加しています。今年度においても、新たな取り組みとして返礼品寄附額の下限額の引き下げ、仲介サイトでのWEB広告の出稿や各種キャンペーンの活用など取り組み強化に努めています。

今年10月から、ふるさと納税制度の改正により、経費の算定方法や返礼品となる地場産品の定義が見直され、返礼品調達費用を含む経費は寄附額の5割までとするルールの運用が厳格化されます。

新たな制度運用について、他の自治体や納税者の動向を注視しながら、寄附を増やす取り組みを継続していきたい。



由良町ふるさと納税の取り扱いサイトより

※その他の質問
・廃校になった小学校の有効活用について



由良みかんで
染め物を



作品展示



由良みかんの皮や枝葉で染料を抽出



今回の「由良町豆情報」は、門前在住の片山綾子さんです。

片山さんが、由良みかんで染物を始めようとしたきっかけは、「せっかくみかんが主な名産品なのに、みかんを利用したものがないのはもったいない。何か有効利用できないか?」と思い、ネクタイやハンカチなどの染め物にみかんの皮や枝葉を利用してみてはと考え、試してみることになったそうです。

「試作したものは、想像以上の出来に仕上がったのでは」と、片山さん自身の感想です。

「今後も、由良みかんの素晴らしさを町内外の人たちにも伝えていき、そして、由良町の発展の一助となればと思います」と、にこやかに答えてくれました。

片山さん、期待しています。

製作：紀州由良片山農園

かたやま あやこ
片山 綾子さん

電話：080-1511-8028

Fax：0738-65-2762



議会広報編集委員会

委員長 三上 幸夫

副委員長 岩崎 清和

山口 太志

山本 大

川出 純



編集後記

コロナ禍が落ち着き、衣奈まつり、由良まつりが4年ぶりに通常開催されました。
参加者の方からは、本当にうれしいとの声が上がっています。
編集委員会のカメラ担当者が祭りに参加し、良いアングルの写真が撮れました。
(純)